

Julabo Case Study

JULABO PRESTO W92tt

100リットル反応容器を
-50℃～+20℃に加熱



目的：

このケーススタディでは、100リットルのガラスリアクターでJULABO PRESTO W92ttの加熱能力テストを実施。
W92ttは片道3mのメタルチューブでリアクターに接続されています。
-50℃から+20℃に加熱するようにプログラミングされています。

試験条件：

使用機器	ユラボ社製 PRESTO W92tt
冷却能力	+20 °C 19 kW 0 °C 15.5 kW -20 °C 9.5 kW
加熱能力	36 kW
バンドリミット	with
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL80
反応容器	100Lガラス反応容器(Büchi Glas) 容器内にはエタノールを70L充填
ジャケット充填量	30 l
コントロール	外部温度制御 (ICC)

環境：

室温	20℃
湿度	45%
電源	400V/50Hz



試験結果：

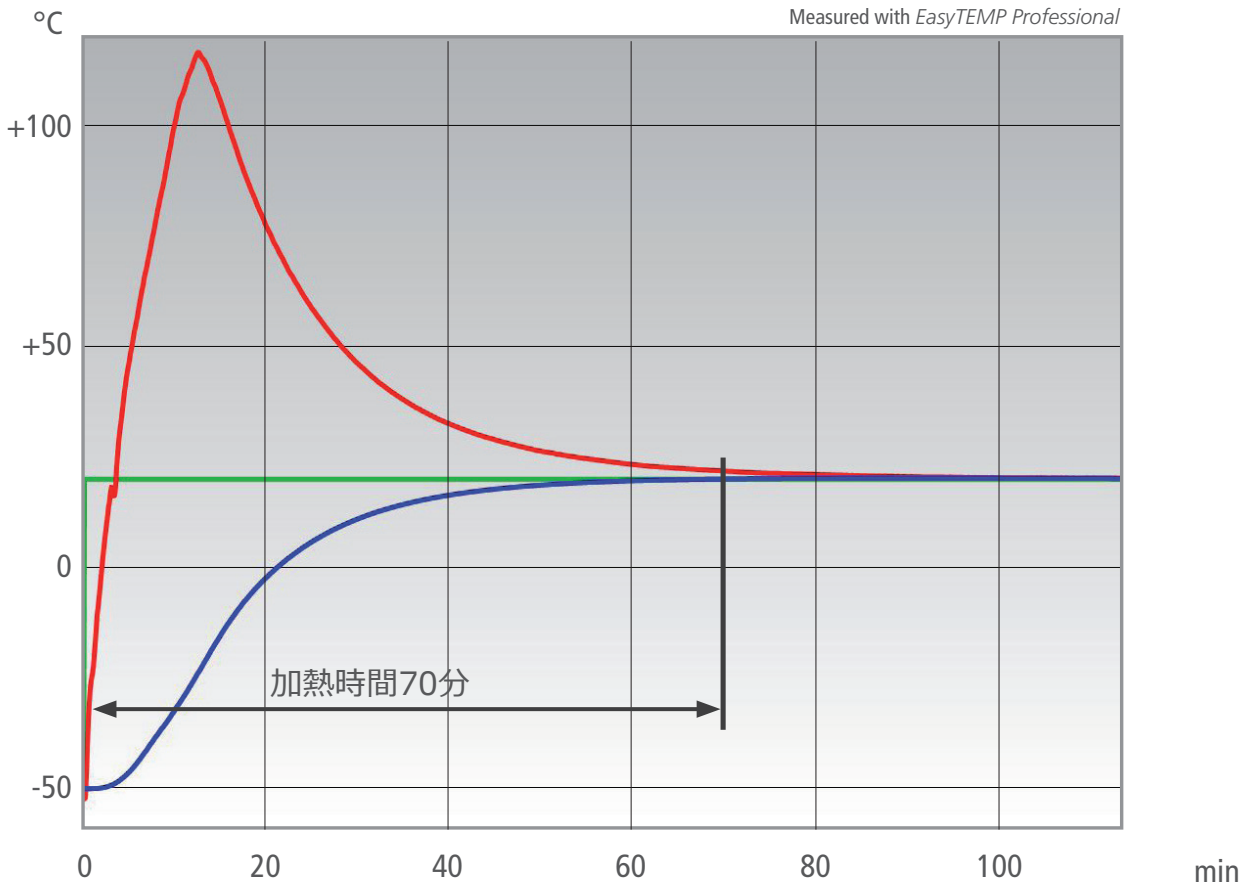
PRESTO W92ttの加熱プログラムでは-50℃から+20℃へ
70分オーバーシュートなしで実施

その他機能

弊社循環ホースと
アダプターで
捻じれなく
接続できます。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット内温度

その他機能
ポンプ圧調整
機能を搭載
PRESTOは希望の
ポンプ吐出圧
設定が可能です。

その他機能
バンドリミットにより
容器内部温度と
ジャケット温度の
最大温度差の設定が
可能。
これにより反応容器の
破損を防止します。

Profile of reactor

JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0